

## 酒田市男女共同参画推進センター

# No.109

# ウィズ・レター

目次 ▼令和5年度 女性活躍推進川柳受賞作品の紹介 ▼出前講座実施報告  
▼男性応援セミナー実施報告 ▼ウィズ登録団体研修会実施報告



## 令和5年度 女性活躍推進川柳の受賞作品が決定しました！

酒田市では平成29年10月に「日本一女性が働きやすいまち」を目指す宣言をし、様々な取り組みを行っています。2年目を迎えた「令和5年度 ジョカツ推進川柳」。今回は前回応募総数の約3倍にあたる1,633句ものご応募をいただきました。多数の応募作品の中から栄えある受賞作品を紹介します。3月8日（金）国際女性デーを機に一人ひとりが自分らしく活躍できるよう正しい知識と関心を持ち、“自分事”として考えるきっかけとなりました。

**令和5年度 山形県酒田市 女性活躍推進川柳 受賞作品**

**最優秀賞**

**女性初？ いいえ目指すは 史上初！**  
(千葉県在住 ペンネーム ほり・たんさん)

**優秀賞 二点**

**広めよう 私らしくが 活きる場所**  
(静岡県在住 ペンネーム 蛇のとくろせん)

**エプロンが 家族のぐんだけ あるキッチン**  
(茨城県在住 海老原 順子さん)

**佳作 十点**

**まず一歩 なりたいたい私へ 舵を切る**  
(東京都在住 ペンネーム カジさん)

**君の子に 見せて垣根の ない世界**  
(埼玉県在住 ペンネーム つばせさん)

**活躍し ロールモデルに 自らが**  
(兵庫県在住 ペンネーム 藤影フジさん)

**ちゃんと見て 女性のちから 侮らさず**  
(酒田市在住 ペンネーム ミエナリオさん)

**男家事 自慢するよじゃ まだまだと**  
(大阪府在住 ペンネーム カワサンさん)

**選びたい 「できること」より 「したいこと」**  
(兵庫県在住 ペンネーム ベンジャミンさん)

**「性」じゃなく 誰もが輝く 「個」の時代**  
(酒田市在住 ペンネーム のねほむさん)

**ジョカツって 言わなきゃ進まぬ もどかしや**  
(大阪府在住 ペンネーム 豆助さん)

**大盛の 飯は男と 決めないで**  
(東京都在住 ペンネーム ハルルさん)

**この川柳 お役御免が 良い未来**  
(大阪府在住 ペンネーム ベースかめさん)



【市役所 正面玄関】



【市役所 正面玄関】



【酒田駅前交流拠点施設ミライニ】



【中町交流ひろば】



市内3か所の公共施設において、受賞作品を展示しました。

# 出前講座 「誰もが“暮らしやすい”社会とは」

～簡単なゲームで楽しく一緒に考えよう～

酒田市立第一中学校で開催しました！

昨年度に引き続き、今年度も酒田市立第一中学校において、2月8日(木)と2月16日(金)の3時間目と4時間目、3年生4クラス105名の生徒さんを対象に、出前講座を開催しました。男女共同参画って聞いたことあるけど一体どういう意味だろう？生徒さんにはその答えを「家事」を通して考えてもらいました。グループごとに異なる生活をする架空の人物たちを割り振り、家事について考えるゲームを行うことで、家族の形や家事の方法に正解はなく、それぞれにあった方法をお互いが尊重しあいながら考えることが大事だと生徒たちは気付きました。講座では「アンコンシャス・バイアス」にも触れ、これから先子どもたちの世界が広がっていくうえで、「じぶんらしく生きること」(＝「男女共同参画」)について、考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。



## 質問

登場人物たち全員のしたいことができるようにするには、家事をどうしたらいい？



## 分担する！

- ・家事を分担する。
- ・家事を交代でする。
- ・得意な家事を担当してもらう。

## 外注する！

- ・UberEatsする
- ・外食に行く
- ・ごはんはコンビニですます



## 時短！

- ・洗濯物は乾燥機かけていく。
- ・一回の買い物でまとめ買いする。
- ・ながら家事



## 共有する！

- ・家事を同じ時間に一緒にする。
- ・一緒に買い物に行く。

## 【質問】

アンコンシャスバイアスは身近にある？

## 【生徒】

- ・ランドセルの色を女の子だからって親から赤に指定されて嫌だった。友達が羨ましかった。
- ・男子だから身長は高くないとダメと言われる。



## ★生徒さんからの感想

- 自分たちが普段意識しないことを教えてくださり、考えさせてくれてありがとうございました。
- 将来について、家事だったり、自分らしさだったり大切にしようと思いました。
- 普段の生活の中で、相手を意識したり、尊重したりして、家事を男女平等にやることで、今より過ごしやすい、自分らしく過ごせることを知りました。
- 家で、お母さんに任せっぱなしだったことに気付いたので、平等にやれたらいいなと思いました。

## ★代表者受講アンケートより

- 生徒も楽しそうに取り組んでおり、課題設定が良いのだと感じました。ゲームの中の家族設定も様々で、生徒たちの考えを深めるのに大変よかったと思いました。
- スライドも具体的で流れがスムーズで、“自分らしく”ということについて意識が深まったと思います。



# 心理学的アプローチから学ぶ 伝える話し方

♥  
心  
が



開催日：2月22日（木）

会場：酒田市交流ひろば 交流室

参加者：9人（30代～60代）

～表情、声の出し方、言葉の選び方で、  
人間関係がグッとよくなる！～

講師：齋藤 みつえ 氏

日本スリーピース・ハビエリストステータ代表

講師の齋藤みつえさんは、心理学的アプローチから、自分も相手も大切にしたい心が伝わる話し方のコツをわかりやすくお話してくださいました。毎回、会場に一体感が生まれ皆さまが笑顔になって帰られます。今回も最後に、今日の学びをぜひすぐにアウトプットし、アウトプットすることで記憶に定着させてお持ち帰りいただきたいと、参加者にエールを送りました。参加した皆さんは、ワークを通して、言葉は相手はどう受け取ったかで違ってくこと、伝えるタイミングとストロークに気を配ること、相手にどう伝わったかを意識すること、リフレーミング、表情と声の重要性など幅広く学びました。最後に、家族、職場、セミナーに参加した方、ふだん感謝を言えない方に、感謝カードにひとことメッセージを書きました。参加した方同士が笑顔でコミュニケーションを取っている様子が印象的でした。



◆本日の学びをアウトプットしよう！～THANKS LETTER  
身近な誰かに「ありがとう」のメッセージを送りましょう！

Naturally grateful  
あたりまえに感謝



コミュニケーションのコツを、イメージではなく言葉で理解することができました。しかしながら、感謝して照れずに伝えることが課題だと知りました。（40代）



細やかなコミュニケーションの手法を教えてくださいいただき、多くの気づきがあり本当に勉強になりました。普段の何気ない時に、相手とのコミュニケーションで実践できるかと言えば不安です。日頃の心がけをしっかりとっていくことで活用していきたいと思いました。（50代）

たくさんの内容を、短い時間でありがとうございました。全て興味深く、ポジティブな明るい内容でとても良かったです。また、参加させていただきたいので、これからチェックさせていただきます。（50代）

★参加者の  
アンケート  
から

コミュニケーションにおけるポジティブとネガティブの特徴が、色々わかって勉強になった。（30代）

とても勉強になりました。これから学んだことを活かし、コミュニケーション能力をつけていきます。（60代）



言葉一つで相手の捉え方が違ったりする事、わかってはいても実際に使うとなると難しいので、今回のセミナーがとても参考になりました。いろんな人に「ありがとう」を伝えていきます。（40代）

# 『ウィズ登録団体 研修会』を開催しました！

3月16日（土） 9：30～11：30

会場：交流ひろば 2F 交流室

講演：「能登半島地震と東日本大震災に学ぶ」  
～忘れないうちに視点をアップデート～

講師：東北大学災害科学国際研究所  
地震津波リスク評価寄附研究部門  
プロジェクト講師 博士（学術）  
**保田 真理 氏**



- 参加者
- ◆登録団体の皆さま（15名）
    - ・NPO法人あらた
    - ・NPO法人にこっと
    - ・庄内ちえりあ
    - ・庄内女性防災ネット
    - ・庄内ウィメンズパーク
  - ◆ウィズサポーター（2名）
  - ◆市危機管理課（2名）

ウィズ登録団体・  
ウィズサポーターは、  
随時、募集中です！

今年度の「ウィズ登録団体研修会」のテーマは、昨年度開催した際のアンケートから「災害時の避難所におけるプライバシー保護のあり方、役割のあり方について、防災担当の側からだけでなく、男女共同参画の立場から議論する場を考えてはいかが？」という意見をいただき開催の運びとなりました。講師の保田真理さんから能登半島地震と東日本大震災の災害における被害についてわかりやすくお話しいただき、そこから私達は何を学ぶか、いろんな方たちと自分自身をどうやって守ることができるのか、考え学ぶことができました。また、男性、女性だけでなく全ての人が、社会の中の構成員として平等に防災に携わることの大切さを再認識するとともに、誰もが安心して過ごせるための配慮の必要性を感じました。参加した皆さんは、ワークを通して、能登半島地震での自身の行動を振り返ることによって、実際に津波が起きた時の対応や今後の防災について考えるよいきっかけとなり、大変充実した研修会となりました。



## ★参加者のアンケートから

- 能登半島地震のことを、改めて整理して向うことができました。私自身避難しましたが、いろいろ課題も見つけ、今後、ひとつひとつ解決に向けて勉強、実践したいと思いました。（60代女性）
- 東日本大震災の時は、工作中。今回の1月1日の地震は、在宅中であり、様々な災害発生パターンを考え、様々な避難パターンを想定していかなければいけないことを、講話やアフタラシート記述で、改めて学ぶことができました。（50代女性）
- 防災セミナー、元日の地震を踏まえて、内容が充実していて、自分に「もしも」の備えが不足していると確認できた。グループワークでの話し合いで、また内容がよく理解が深まった。（50代女性）
- 防災についての研修会は、何度か参加しましたが、今回、実際に地震があった日の話を少人数で話ができ、とても参考になった。今後の課題も明確になった。（50代女性）
- 普段から、周囲といかにコミュニケーションを取るかが、災害が起きた時、助け合えるカギとなると思いました。また、「避難」に対する意識を高めるためにも避難訓練の重要性を改めて感じました。（30代女性）

## 令和6年度

### 男女共同参画担当スタッフ紹介

課長	守屋 純
課長補佐	飯野 寿久
主査兼係長	五十嵐智春
主事	池田 愛
主事	林 柚果
男女共同参画推進員	公平 輝子

※令和6年度より「市民部 共生社会課 男女共同参画・多文化共生係」となります。

よろしくお願いいたします！

酒田市地域創生部地域共生課男女共同参画係  
男女共同参画推進センター **ウィズ**

開館 月～土：9：00～22：00

日・祝：9：00～17：00

相談 月～金：9：00～16：00（祝日除く）

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5  
交流ひろば内

Tel：0234（26）5616

Fax：0234（26）5617

E-mail：kyousei-with@city.sakata.lg.jp



▲ウィズHP

